

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
看護共通技術	1年次 前期	必修	講義	2単位(60時間)	鹿島 ゆかり ※
授 業 概 要					
看護専門職になるものとして看護技術の「技」を学び・磨き続けることの必要性を学ぶ。ここでは、看護場面に共通する看護技術の概念と基本構造を学ぶと共に、演習やロールプレイを通して、様々な場面で行われる共通技術を実践する。また、実践した看護技術を振り返ることを通して、より良い看護技術について考える機会とする。					
到 達 目 標					
1. 看護職が行う看護技術が分かる。 2. 共通技術を原理原則に基づいて実施できる。 3. 原理原則に基づいた共通技術を、様々な状況に合わせて実施する。 4. 看護技術の習得に向けて興味・関心を高めると共に、訓練・経験を積み重ねることの重要性が分かる。					
実務経験のある教員					
鹿島 ゆかり、渡辺 雅美、石田 遥：臨床経験をふまえて看護に共通する技術の意義・方法・根拠を教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-30	1. 看護職が行う「技術」とは何か 1) 看護における「技術」 2) 看護職が「技術」を行うにあたって求められる能力 3) 安全・安楽とは 4) 医療事故・看護事故 ①事故の構造 ②インシデント・アクシデント ③事故予防 2. 看護職が行う技術 Part1「感染予防の技術」 1) 感染とは何か 2) 看護職が行う感染予防の実際 ①手洗い、②防護具の着用 3. 看護職が行う技術 Part2「環境調整の技術」 1) 環境とは 2) 環境を整えるために必要な看護の視点 3) 環境を整える ベッドメイキング、臥床者のリネン交換 4) 様々な状況に合わせた環境調整 4. 看護職が行う技術 Part3「症状・生体機能管理の技術」 1) バイタルサインの測定 2) 様々な状況に合わせた測定技術 3) 測定の意味 5. 看護職が行う技術 Part4「情報収集」「コミュニケーション」 1) 「情報収集」 ①収集したい情報と収集すべき情報 ②情報収集方法の選択と実践 2) 看護を実践するための重要なコミュニケーション技法 ①看護におけるコミュニケーション ②信頼関係を気付くためのコミュニケーションの実際				鹿島 ゆかり ※ 渡辺 雅美 ※ 石田 遥 ※
学 習 方 法					
講義 グループワーク					
評 価 方 法					
看護技術試験 レポート 科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔1〕看護学概論 茂野香おる 他 著 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ 茂野香おる 他 著 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ 任 和子 他 著 医学書院 看護技術プラクティス第4版 竹尾恵子監修 学研					